

福 祉

種 目	発 行 者		教科書の記号・番号	判型	ページ数	検 定 済 年
	番 号	略 称				
コミュニケーション技術	7	実教	福祉 705 ◆	B 5	150	令和5年
介護過程	7	実教	福祉 706 ◆	B 5	134	

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

コミュニケーション技術		冊数	1冊
発行者の略称・教科書の番号	実教705		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【福祉の目標】

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【介護過程の目標】

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、対人援助や福祉実践の場での人間関係の構築に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対人援助について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 対人援助の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、適切な対人援助に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【介護過程の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
目標に示す資質・能力を身に付けることができるよう、次の〔指導項目〕を指導する。 〔指導項目〕 (1) 福祉実践におけるコミュニケーション ア コミュニケーションの意義と役割 イ コミュニケーションの基本技術 (2) サービス利用者や家族とのコミュニケーション ア サービス利用者に応じたコミュニケーション イ サービス利用者や家族との関係づくり (3) 福祉実践におけるチームのコミュニケーション ア 記録による情報の共有化 イ チームによる連携	(1) 内容を取り扱う際には、次の事項に配慮するものとする。 ア 〔指導項目〕の(1)から(3)までについては、生徒や地域の実態、学科の特色に応じて、いずれかを選択して扱うことができること。 イ 生徒や地域の実態、学科の特色に応じて、介護実習やボランティア、地域交流の場を活用した実践的・体験的な学習活動を取り入れるなどして指導すること。 ウ 生活に関する事象を、サービス利用者の状況や環境の継続性に着目して捉え、人間の尊厳と自立を目指した人間関係の構築に向けて、適切かつ効果的なコミュニケーション技法と関連付けて指導すること。 (2) 内容の範囲や程度については、次の事項に配慮するものとする。 ア 〔指導項目〕の(1)のアについては、サービス利用者とのコミュニケーションや具体的な福祉実践の場を想定した事例について扱うこと。イについては、援助を行う際に必要なコミュニケーション技法の概要、活用及びその過程について扱うこと。 イ 〔指導項目〕の(2)のアについては、サービス利用者の状態や状況に応じたコミュニケーション技法について扱うこと。イについては、サービス利用者や家族との関係づくりや支援の技法について扱うこと。

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
	ウ [指導項目] の(3)のアについては、福祉実践の場における他の職種との情報共有及び多様化している記録媒体や情報機器の有効な活用方法について扱うこと。イについては、多職種がチームとして取り組む福祉実践の場におけるコミュニケーションについて扱うこと。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究

調査項目	対象の根拠(目標等との関連)
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)	学習指導要領第3章第8節第3款1(1)
b 地域福祉や福祉社会に関わる内容	学習指導要領第3章第8節第1款
その他の項目(各教科共通)	学習指導要領、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)

- ・ 各単元において、どのような資質・能力を育成できるか見取る

b 地域福祉や福祉社会に関わる内容

- ・ 各単元において、地域社会や福祉社会に関わる内容を見取る

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題(同和問題、北朝鮮による拉致問題等)に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック、パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)

- ・ 学習指導要領の中に、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成について」言及されているため、コミュニケーション技術では、各単元における資質・能力をどのように育成できるかという視点で質的に調査する。

b 地域福祉や福祉社会に関わる内容

- ・ 学習指導要領では、福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力の育成することが目指すとあるため、地域福祉や福祉社会と関連付けられている項目・題材について調査する。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。

- ・ 東京都教育委員会の基本方針 2・3 に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針 1 及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	福祉
科目名	コミュニケーション技術

発行者（略称）	実教
教科書番号	福祉705◆
教科書名	コミュニケーション技術
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【福祉実践におけるコミュニケーション】	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉実践におけるコミュニケーション」の単元で、事例や図を活用することによりコミュニケーションの特性と効果的なコミュニケーションの技法について理解が深まるよう工夫されている。また、具体的なコミュニケーション技術と対人援助者としての在り方が、演習を通して理解が深まるよう工夫されている。 ・「言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション」の単元で、「やってみよう」として実際にやってみたり、グループで話し合ってみたりすることにより、コミュニケーションの分類と特徴について、内容の理解が深まるよう工夫されている。
【サービス利用者や家族とのコミュニケーション】	<ul style="list-style-type: none"> ・「利用者や家族との関係づくり」の単元で、図や事例を活用することにより、利用者や家族とよりよく関わるためのコミュニケーションについて理解できる工夫されている。 ・「サービス利用者に応じたコミュニケーション」における各単元で、図や表を活用することにより、各障害の理解に加え、コミュニケーション支援ツール（福祉機器）を用いた日常生活の支援の紹介など、サービス利用者に応じたコミュニケーションについて考察できる構成になっている。
【福祉実践におけるチームのコミュニケーション】	<ul style="list-style-type: none"> ・「記録の意義と目的」の単元で、コラムにおいて記録を基に介護の見直しのできた例を紹介することや、「考えてみよう」において記録の活用について考察することにより、内容の理解が深まるよう工夫されている。 ・「情報の共有化」の単元で、情報を共有する意義と目的、正しい情報共有の方法について、内容の理解が深まる構成となっている。 ・「チームのコミュニケーション」の単元で、コラムにおいて、さまざまな職種から得られる情報を紹介するなど、情報を共有する意義と目的、正しい情報共有の方法について内容の理解が深まるよう工夫されている。
b 地域福祉や福祉社会に関わる内容	
【福祉実践におけるコミュニケーション】	<ul style="list-style-type: none"> ・「受容と共感」の単元で、コラムにおいて地域包括支援センターの事例を挙げ、本人と相談員のやり取りを通して、バリエーションの7つの原則について理解できる内容となっている。
【サービス利用者や家族とのコミュニケーション】	<ul style="list-style-type: none"> ・「障害とコミュニケーション」の単元において、ピアサポートによる他者との関わりの重要性について記載されたり、「認知症の人とのコミュニケーション」の単元において、地域の中で住民と相互理解を深める認知症カフェの取組が記載されたりするなど、他者との関わりや地域における理解の重要性について理解できる内容となっている。
【福祉実践におけるチームのコミュニケーション】	<ul style="list-style-type: none"> ・「記録の意義と目的」の単元で、各専門職が連携しチームで関わることの必要性について考察することを通して、介護サービスの利用者が抱える課題をチームで解決することの重要性について理解できる内容となっている。 ・「チームのコミュニケーション」の単元で、コラムにおいて、様々な職種から得られる情報を紹介する事例を通して、チームによる連携について理解できる内容となっている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	記載なし
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。